Europe Indicators

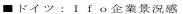
発表日:2021年11月25日(木)

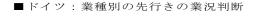
欧州経済指標コメント: 11 月ドイツIfo企業景況感

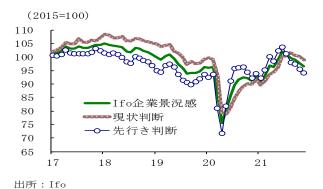
~感染再拡大で先行きの業況が一段と悪化~

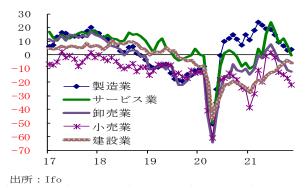
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部 主席エコノミスト 田中 理(Tel:03-5221-4527)

- ・ 24日に発表された11月のドイツの I f o 企業景況感(2015年=100の指数)は前月から1.2ポイント低下。前月比の低下は5ヵ月連続となり、昨年4月のボトム→今年6月のピークまでの+26.5ポイントの累積での改善のうち、 $\blacktriangle 5$.4ポイントを再び失った形。内訳は現状指数が3ヶ月連続、先行き指数が5ヶ月連続で低下し、ともにヘッドライン計数を押し下げた。
- ・ 業種別の先行きの業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、供給制約の影響で下押しされてきた製造業(前月:+3.3→今月:+4.0)が僅かに持ち直した一方、今年春の行動制限緩和後にプラス圏に浮上したサービス業(+6.5→ \blacktriangle 0.2)がマイナス圏に再転落したほか、小売業(\blacktriangle 17.3→և22.1)、卸売業(և10.9→և12.0)、建設業(և3.7→և6.0)が揃ってマイナス幅が拡大した。
- ・ 新型コロナの感染が再拡大し、政府はワクチン未接種を対象に行動制限の再強化に乗り出した。 供給制約の長期化や物価高とともに、先行きの業況の重石となっている。前日に発表された PM I では、製造業の改善モメンタムが僅かに鈍化した一方、サービス業の改善が加速し、ヘッドライン計数を押し上げたが、これは調査時期や質問の性質から、行動制限再強化の決定を十分に反映していない可能性がある。 I f o の業種別の現況判断では、先行き判断とは異なり、小売業(\triangle 5.2 \rightarrow +1.3)、卸売業(\triangle 3.5 \rightarrow \triangle 0.4)が前月に比べて改善ないし悪化幅が縮小している。 感染再拡大が先行きの業況を下押ししていることが分かる。









■ドイツ I f o 企業景況感

	2020	2021			2021										
	4Q	1Q	2Q	3Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業景況感(総合)	92. 1	93.6	99. 2	99. 9	90.9	93. 1	96.8	96.4	99. 2	101.9	100.9	99. 7	99.0	97. 7	96.5
現状指数	90.6	91.4	96.9	100.9	89.6	91.2	93.5	94.4	96.1	100.1	100.5	101.6	100.5	100.2	99.0
先行き指数	93.6	95.8	101.6	98.9	92.2	95. 1	100.1	98.5	102.4	103.8	101.3	97.9	97.5	95.4	94.2
業況判断	1.2	4.6	16.8	18.3	-1.3	3.5	11.5	10.8	16.8	22.8	20.6	18.0	16.4	13.7	11.0
製造業	5. 2	16.8	26.6	24.1	10.0	16.7	23.8	24.8	25.8	29.1	27.8	24.5	20.0	17.5	16.5
サービス業	0.1	0.7	13.5	19.0	-3.6	-1.3	6.9	3.8	13.7	22.9	20.0	17.9	19.2	16.6	11.5
卸売業	-0.4	1.2	15.8	15.2	-3.3	-1.0	7.9	10.1	16.2	21.0	19.3	13.1	13.1	8.7	7.9
小売業	-3.0	-26.3	-1.8	5.2	-33.5	-31.2	-14.3	-14.7	-3.6	12.8	10.4	3.2	2.1	-2.0	-4.0
建設業	-0.9	-1.7	2.9	8.5	-5.2	-2.7	2.7	1.0	3.3	4.5	6.3	8.1	11.0	12.8	12.0

出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

